

<図・写真>



<材料・製作方法等>

(材料)

カゴ、クランプ、L字金具、ボルト

(製作方法)

- ① カゴに穴を開ける。(教具等の固定用)
 - ② カゴにL字金具、クランプを付ける。
- ※ 完成したカゴに右写真のように別にカゴを着けたり、ひっくり返して使ったりする事も可能。

<ねらい>

- ・ Kさんの得意な「作業学習」的な活動にすることで、「楽器に触れること」への苦手意識を軽減できるのではないか(写真左)
- ・ 本人と他者との共有スペース(やりとり)を作るツールとするため。(写真右)

<指導方法・留意点等>

- ①「音楽」・・・ 1学期の取り組みで、楽器を投げて音を出せる(体育的アプローチ)ようになったため、楽器を入れて音を出す(作業的アプローチ)に発展させるために制作。机上に置いたハンドベルをカゴに入れることをねらう。
- ②「販売」・・・ カゴを販売活動用にアレンジ。前のカゴに製品を入れ、手前のカゴではお金のやりとりをすることをねらって使用。

<指導経過・成果・課題・展望等>

(指導経過・成果)

① 音楽

- ・ 10月中旬に製作し、使用開始。仮説通り、ハンドベルを嫌がらずにカゴに入れようとするが、カゴが大きく、投げ入れることが多かった。
- ・ カゴを伏せて使用したところ、そこに寄せようとして、投げずにハンドベルを扱える。
- ・ 数回繰り返すことで、ハンドベルを優しく扱えるようになる。授業の様子を見ながらカゴの向きを調整して使用。
- ・ 授業公開など大勢の人に見られる場面でもハンドベルをカゴに入れることができた。

② 販売学習(やりとりツール)

- ・ 11月上旬に販売学習の練習のためにアレンジ。販売練習で使用したところ、ふれあい祭りで販売をすることにも使用できそうな手応えを得られる。(相手とやりとりをする際の距離感など)
- ・ ふれあい祭りでは販売テントの前で接客をした。5人以上の人とやりとりをすることができた。

(展望)

- ・ 昨年度から、教具を「固定」することをテーマに教具作成をしてきたが、固定することで課題に気持ちを向けられることがわかってきた。
- ・ 今回の教具で、サブテーブルの様な活用をすることで初期のプットインの課題として。また、初期の3項関係の共有スペース的な使用などいろいろな場面での活用が期待できると感じている。